

1. 日常生活技能

領域	評価項目	評価場面	1(できない)	2(あまりできない)	3(だいたいできる)	4(できる)	備考
	1コミュニケーション	日常生活	言語による意思疎通ができない	言語による意思疎通は大体できるが、話し方が不適切、あるいは相手の言うことを聞いていないことが多く配慮を要する	言語による意思疎通はできるが、左記のことについて時に配慮を要する	話をする、話を聞くことに特に配慮を必要としない	
	2日常のあいさつ	日常生活	自分からあいさつしない、相手がしても応じないことが多い	相手からあいさつすれば応じるが、自分からすることは少ない	時にあいさつを忘れる	必要なときに適切にあいさつができる	
	3食事のマナー	屋食	食事のマナーが悪く、一緒に食事をしている人に不快感を与えないよう注意することが多い	左記の行動が時々ある	左記のことがたまに見られる	注意することはない	
	4身だしなみ	日常生活	身だしなみについては、いつも注意や援助が必要である	身だしなみを気にせず、人から言われたときにあらためる程度	注意することはあるが、大抵いつもきちんとしている	いつもきちんとしている	
健康と安全	1健康状態	日常生活	病気がちで月のうち半分も来れない	時々病気で休む、または作業中も不調を訴えることが多い	病気で休むことはほとんどないが、時に不調を訴えることがある	病気による欠勤はほとんどなく、通常不調を訴えることはない	
	2安全への配慮	日常生活	危険物や用心しなければいけないことに対して気づけないのでいつも周囲の配慮が必要	左記のことについて周囲の注意を要する	左記のことについて時に注意を要する	左記のことについていつも自分で気づけている	

2. 社会生活技能

領域	評価項目	評価場面	1(できない)	2(あまりできない)	3(だいたいできる)	4(できる)	備考
作業能力	1指示理解	作業	繰り返し手順を示しても理解が困難	繰り返し手順を示すことが必要	2~3回手順を示すことにより理解できる	1回手順を示すことで理解できる	
	2能率	作業	能率が上がらない	能率が上がらないことが多い	だいたいいつも能率をあげることができる	いつも能率よく仕事ができる	
	3正確性	作業	不正確	不正確になることが多い	だいたい正確	正確	
	4修正能力	作業	修正できない	具体的例示により修正できる	声掛けにより修正できる	自分で修正できる	
	5判別能力	作業	不良品(汚れ)などの判別ができない	判別できないものが多い	だいたい判別できる	判別できる	
	6巧緻性	作業	道具の使用は困難	道具の使用は不得意	決められた単位の道具の使用はできる	道具の使用はできる	
	7習熟度	作業	習熟しない	習熟に時間がかかる	どの種目もだいたい習熟する	どの種目も習熟する	
	8理解の持続性	作業	理解したことを忘れてしまう	忘れることが多い	時に忘れることもある	理解したことは忘れない	
体力	1体力	作業	体を動かす作業で、すぐに疲れて休んでしまう	左記の作業で一定時間内に時々休む	左記の作業で疲れた様子が時に見られる	左記の作業で疲れた様子が見られない	
	2動作の機敏さ	作業	動作はいつも緩慢である	動作が緩慢なときがよく見られる	だいたいいつも機敏に動ける	てきぱき要領よく動く	
作業態度	1陰日向の有無	作業	リーダーがいないとまったく作業しない	リーダーがいないとおしゃべり、手休めなどが頻発する	リーダーがいないと左記の行動がときに見られる	いる、いないにかかわらず通常の作業は一人で出来る	
	2作業の意欲	作業	作業中によそ見、居眠り、おしゃべりなどを度々する	いやいやながらやっているときがある	時に飽きることもあるがだいたい熱心に作業している	いつでも熱心に作業をしている	
	3作業のムラ	作業	作業の好き嫌いが激しい、気分によって作業態度が大きく変わるなど、作業成績や態度のムラが大きい	左記の傾向があり、作業成績や態度にムラがある	時に気分が乗らない様子で作業している	作業の好き嫌いや気分のムラはみられず、不得意な作業も熱心にする	

領域	評価項目	評価場面	1(できない)	2(あまりできない)	3(だいたいできる)	4(できる)	備考
作業態度	4持続性	作業	一つの作業で、1時間以内に飽きてしまい、よそ見・あくび・居眠りなどの行動が見られる	1時間以上になると、左記の行動がみられる	1日以上の作業時間のなかで、時に左記の行動が見られる	1日の作業時間のなかで、左記の行動はほとんどみられない	
	5集中力	作業	誰かが入ってきたとき、電話がかかってきたとき、リーダーが他人に話しかけたときにいつも手をやすめている	左記の行動がしばしば見られる	時々左記の行動がみられる	周囲の状況に左右されずに作業している	
	6注意・指示を聞く態度	作業	無視・反発・拒否することが多く、指示や注意を聞き入れる態度が見られない	一応聞いているが、その場限りのことが多い	時に取り違えたり守れないこともあるが、だいたい指示通りできる	注意や指示をきちんと守り作業している	
	7質問・報告	作業	必要なときでも自分から質問や報告をすることは少ない	必要なときながされて質問や報告をする、あるいは必要以上に質問や報告を繰り返す	必要なとき報告を時に忘れる	必要な時に自発的にできる	
	8準備・後片付け	作業	常に援助が必要	言われないと、準備・後片付けをしない	時に不十分なものがある	自分できちんとしている	
	9責任感	日常生活	作業をやろうとせず自分のやるべきことができず、注意してもあらためない	作業などをいいかげんにすることが多い	作業など決められたことはだいたい出来る	決められた作業は安心してまかせられる	
安全	1安全への配慮	作業	視野を広くもって業務ができないので誰かが周囲を気づけて見ないといけない	左記のことについて周囲の注意を要する	左記のことについて時に注意を要する	左記のことについていつも自分で気づけている	

3. 社会生活における行動特徴

領域	評価項目	評価場面	1(できない)	2(あまりできない)	3(だいたいできる)	4(できる)	備考
社会参加への志向性	1情緒の安定	日常生活	泣く・大声を出す・反動的になる・暴れる・沈み込む・ふくめるなどの行動が頻繁にある	左記の行動が時々見られる	時に左記の行動がみられる	だいたいいつも安定している	
	2場面にあった適切な行動	日常生活	周囲の状況に無関心で、独り言・居眠り・奇声などの行動が頻繁にみられ、注意されてもあらためようとしていない	左記の行動がたびたび見られるが、助言により、その時だけあらためる	時に左記の行動がみられるが注意すると改めることが出来る、自分でも気づけようとしている	周囲の状況をわきまえて行動している	
	3自発性	日常生活	いつも誘わないなどの場面で自分から進んで行動しない	場面によっては自分から進んで行動することがあるが誘いかけが必要がある	どの場面でもだいたい自分から進んで行動するが、時に誘いかけが必要がある	どの場面でも自分から進んで行動する	
	4生活の目標	日常生活活動	助言や指導をしても、生活の目標がわからない	助言や指導をしても、生活の目標があいまいである	生活の目標はだいたいわかり、必要な努力をしている	生活の目標を自覚し、それに向かって努力している	
	5就労意欲	日常生活活動	就労の意味を理解していない	就労に対する理解があいまいである	働きたい希望があり、助言や指導により必要な努力をしようとしている	働きたい希望がはっきりしており必要な努力をしている	
社会参加への志向性	1上司・先輩への対応	日常生活作業	目上の人との区別ができない、あるいは無視・拒否・反抗などの態度がいつもみられる	目上の人に対し、同僚と同じような接し方をする	目上の人に対してマナーを一応わきまえているが、忘れてしまうこともある	目上の人に対して適切な敬語を使ったり、マナーをわきまえた行動がとれる	
	2協調行動	日常生活	集団行動場面では拒否的あるいは攻撃的で、いつも個別指導を要する	いつも左記の傾向はあるが、指導や配慮によって集団行動がとれる	左記の傾向がときに見られるが、必要なときは協調行動がとれる	だいたいいつも協調行動がとれる	
	3非社会的行動	日常生活	自分の殻に閉じこもる、周囲に無関心、集団行動を避けるなどの行動がいつも見られる	左記の行動があり配慮を要する	左記の行動があり時に配慮を要する	左記の行動はみられない	
	4反社会的行動	日常生活	家出・盗み・暴力・不良交友などの非行傾向がみられる	夜遊び・不良交友・浪費などの傾向があり注意を要する	左記の点で時に配慮を要する	非行について心配はない	
	5日常の規律	日常生活	規則について無関心で、注意されても同じことを繰り返す	規則を守らなければいけないことを知っているが、実行できず注意されてもその場限りのことが多い	規則を守らなければいけないことを知っているが、時に守れないことがある	規則を守っている	
	6移動能力	通勤時など	一人で交通機関の利用ができないため、外出には付き添いが必要	交通機関の利用はできるが、迷いやすぐ慣れない所へは必ず付き添いが必要	2~3回の送迎で通勤できる、慣れないところへも教えられれば一人でできる	一人で移動できる	